

II 令和2年度事業実施概要

1 子どもメンタルクリニック事業

児童精神科医を中心として、乳幼児の発達や育児不安などに関する悩みを持つ保護者及び情緒面の問題（強い不安、抑うつ、強迫、不適応等）や発達障害（自閉症スペクトラム障害、ADHD等）を持つ子どもに対し、保険診療を行う子どもメンタルクリニック事業を実施した。

(1) 附属診療所診療状況（デイケア通所児童生徒を含む。）

子ども総合センター附属診療所、大崎診療室、石巻診療室及び気仙沼診療室（以下「当診療所」という。）においては、県内外から新患831人の児童生徒や親が受診し、延べ患者数は8,898人に達している。

新患の主訴は、幼児期から思春期までの様々な情緒面の問題、発達に関する診断、発達障害を背景とした行動上の問題などが多い。精神的な症状や行動上の問題などが大きく、治療を必要とする患者には、継続的な診療を行っている。

○ 令和2年度診療状況

単位：人

診療室	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
名取	新患	58	29	65	53	53	56	77	49	49	51	70	85	695
	延べ	365	373	568	546	543	542	654	558	595	545	573	684	6,546
大崎	新患	2	3	1	8	4	9	6	8	6	8	5	4	64
	延べ	64	76	90	117	87	120	109	119	127	124	108	130	1,271
石巻	新患	0	6	1	3	2	3	7	3	7	4	3	3	42
	延べ	46	46	49	57	48	47	68	51	63	54	63	60	652
気仙沼	新患	1	1	0	0	3	3	5	2	3	3	5	4	30
	延べ	31	40	33	36	30	37	34	40	32	39	39	38	429
合計	新患	61	39	67	64	62	71	95	62	65	66	83	96	831
	延べ	506	535	740	756	708	746	865	768	817	762	783	912	8,898

○ 患者地区別診療状況

単位：人

地区	仙台	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	他県	保護所	その他	合計
受診者数	518	1,532	3,635	1,150	172	285	948	425	59	128	46	8,898

○ 年次推移

単位：人

診療室	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
名取※	新患	618	617	690	740	910	760	790	785	753	823	792	695
	延べ	4,310	4,107	3,660	3,995	4,905	5,620	5,968	5,798	5,517	5,959	6,128	6,546
大崎	新患	97	100	108	116	110	96	75	82	61	63	45	64
	延べ	829	924	949	1,056	1,204	1,272	1,235	1,173	949	998	1,063	1,271
石巻	新患	59	75	55	87	82	56	50	33	50	32	34	42
	延べ	276	287	243	377	387	340	393	301	383	415	482	652
気仙沼	新患	31	20	27	34	43	32	44	27	41	31	39	30
	延べ	198	127	128	151	265	304	320	291	272	308	431	429
合計	新患	805	812	880	977	1,145	944	959	927	905	949	910	831
	延べ	5,613	5,445	4,980	5,579	6,761	7,536	7,916	7,563	7,121	7,680	8,104	8,898

※ 平成24年度までは「仙台市」で、平成25年度以降は「名取市」での診療です。

(2) 自閉症家族教室の開催

当診療所に通院歴があり自閉症スペクトラムと診断された子の保護者を対象に、障害についての正しい知識を習得し、障害特性に合った養育方法を学ぶことを目的として実施した。発達の診断や見立てを主訴として来院する患者の家族が依然として多く、診療ではフォローしきれない部分を当事業で補うことが期待されている。

○ 開催状況

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
令和2年10月19日(月)	自閉症スペクトラム症について	子ども総合センター 小児科医 佐藤 寛記	15人
令和2年12月14日(月)	お子さんの特徴をつかんでオーダーメイドの支援を考えよう	臨床発達心理士 菅原 佐和子 氏	15人

(3) 教育・保健・福祉等関係機関の支援及び専門的技術支援

教員、保健師、児童福祉司などのコンサルテーションを行い、関係職種との連携と地域における児童福祉及び児童精神保健の向上を図った。

(4) 所内勉強会等の実施

スタッフの資質の向上を目的とし、当診療所に通院中の子どもについて、事例検討や情報共有を27回実施した。